



SSKP

SSKP へいんはの云報紙 つくつく通信 No.94

つくしんぼの会報紙

通信
No.94

ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> メール fs2941@nifty.com

つくしんぼはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～NPO 法人はらっぱ
フリースペース
つくしんぽ
町田市小川 1511 番地
TEL/FAX 042-706-8468

いま、自分に何ができるか

4月28日から5月1日にかけて、
宮城県の石巻市および女川町まで
足を運ばせて頂きました。

つべしんぼの造形の時間にいふ
してしまつてゐる木村先生の「
実家が女川にあり、家族で救援物
資をワゴン車に積んで石巻と女川
の親戚をまわることなので、
運転手役に使って頂きました。
体調的にどうにも自信のない私
の場合、ボランティアとして行つ
てもかえつて迷惑をかけてしまう
だろうし、こんな機会でなければ
自分（山下）が被災地に赴くことは
はまざないと想い、無理を言つて
同行させて頂いた次第でした。

壊滅…といつ四葉の意味
石巻市に周囲をぐるりと囲まれて
いる原発と漁業の町・女三町は

4 円半ばに 200 法
の総会があり、昨年度
はをさやえの会にてに
を義援金に回したいと

倒れ倒れでしが「一塊源白水没」とうのは、津波に被災したといふ味ではなく、一つの町が丸ごと消えなくなつていひふところの意味であることを……。

人口約一万人。そのうちの2割近くの方が津波の犠牲になつて、まつたとのこと。往きに立ち寄った石巻市内の木村先生の親戚の『で、石巻市役所の職員をされて』る姪っ子さんが口にした「石巻をひどいけど、女川はけた違ひだな…」の言葉の意味を、峠を超えて町が一望できる場所へと着いた

承認されていました。そして、どうせなら、つべしんぼとして縁のある木村先生の故郷の女川のため、にじんポイントで役立て貰いたいところのことになりました。

橋本クンに会いました

サボーター」支援

ボランティア・「寄付」
ありがとうございました
三箇山様、山下様、山本様、宮崎様
行田様、西川様、藤田様
(4月～5月)

戚筋の方は幸いにも犠牲者は一人もなかつたとのことでしたが、いくつかの避難所をまわつてみたものの、実家のご近所に住んでいたした方とは今回誰一人会つことないませんでした。

そんななか、避難所となつてゐる女川一小の一室で、後ろ姿カミカミして自閉症とわかる青年と出会いました。橋本雅生くん。15歳。こ

く自閉症の青年」だったのです。今は避難所を出て親戚の家にちぎりで今日は会いに来たとのこと。なんか嬉しくって、つぶつといお母さんに頼んで写真を撮らせて貰つてしましました。

なお、橋本ワンの新聞記事をホームページに掲載させて貰いました。

右の写真は上から 女川灘を
渡せる公園からの景色、町全島
木村先生のご実家があつた場所で
自閉症の青年とお祖父ちゃんとの
避難所でのスリーショットです。
木村先生のご実家は、ほんと
の横。通りを隔ててすぐには海とい

ボランティア・ご寄付
ありがとうございました
三箇山様、山下様、山本様、宮崎様
行田様、西川様、藤田様
(4月～5月)

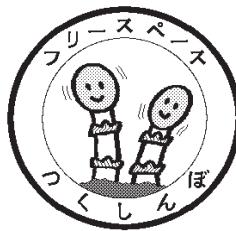




SSKP

つくつく通信

'つくしんぼ'はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後5時30分まで
ボランティアさんを募集中です
興味ある方はご連絡ください
★★★★★★★★★★★★★★



つくしんぼ 交遊録

女川に目を向けてくださったこと 心よりお礼申し上げます

木村 巴

はじめまして、私は火曜日につくしんぼに伺っている絵画担当の木村巴です。月に1、2度楽しく過ごさせていただいております。お仲間に入れていただいてから1年経ちます。高尾先生にお世話になり、紹介いただきました。

私は洋画(油彩)を専門とし、断続的ですが一人で制作活動をしてまいりました。1年前義母を見取ってから、制作を中心とした生活にと決め、今に至っています。62歳の転換でした。

今私の考えていることを皆さんにお伝えする

思春期を迎え、物を投げるなど
パニックを起こすことがあるが、
ピアノの前に座ると落ち着く。貢
通わせた。

津波で家を流され、おばあさん
を亡くした橋本君は、家族とともに
に同小に避難している。ピアノを
始めたのは小学4年の時。担任の
先生から「楽譜が読めますよ」と
聞いた母親の安代(やすよ)さん
(44)は、橋本君をピアノ教室に
通わせた。

には、多すぎてかなり絞り込まなければなりません。そして何を語るにも、3月11日の震災を抜きにしては何も語れなくなっています。

主人の実家は宮城県女川にあり、私は1年前まで義母の介護で長いこと月の半分はそこで過ごしておりました。人の想いというものは思わず方向に進んでいくもので、嫁として40年近くたっても女川の地に心から馴染むことはなかったように思います。義母が亡くなつて、もうこの地にはほとんど来ることはないと、大きな役目を終えたとき思ったものです。

3月11日、時々刻々とその被害の深刻さを知りました。無事でいた漁師の最初の言葉です。「女川さ、ねくなつたー！」

私の生活は思いもよらぬ方向になり、40年近くの縁は簡単に切り離せず、私の歴史となっていることを知らされました。

4月末ガソリンの供給が落ち着き始めたころ、山下さんにご一緒していただき、親戚を見舞う目的と、山下さんのおっしゃる「ピンポイントの支援」がキーワードとなり、「見える支援を」ということで支援の輪が広がりました。山下さんの映画をご存じであった下高井戸シネマ、落語会などの他団体からの支援金をお預かりし、

届けることも目的でした。

道々の被害状況のすごさに息をのむ思いでした。が、女川はその比ではないくらいの惨状、どこの位置に立っているのか分からず、人もいない、足元に海が迫り、ボランティアもいない。悪臭が町を覆い、かろうじて流されなかつた鉄筋の建物が絶望的に横たわっていました。明らかに復興の手が未ださしのべられていない状況でした。

そして3ヶ月以上たつた今、女川は遅々として復興が進まないです。働くところ、店も、車もない。衛生状態も悪く、多くの人々は今、さらに辛くなっているように思います。

被災地の方々が未だ先の見えない現状に、立ち向かい、忍耐し、未来を切り開こうとしていらっしゃる。

今、アースデーマナーというNPO法人が被災地と東京を結ぶバスを震災3日目から運行しています。そのお世話になり支援物資を送ったり、支援金を届けに行ったりしています。次回は支援物資として集まつたメガネを現地に届けに参ります。

私は思います。継続した支援が必要であることを。

東日本大震災の避難所になつて
いる宮城県女川町の女川第一小では
毎朝、ピアノの音色が穏やかに
響く。自閉症の同町立女川第一中
2年生橋本雅生君(14)。「ピアノ
を聞くたび、今日も生きているん
だと思う」と被災者の声。橋本君
は音楽を通じて人の役に立てるこ
とがうれしくてたまらない。

25日午前7時半。校舎3階にあ
るオープنسペース隅にあるピア
ノで橋本君は「トルコ進行曲」な
どを小さな音で弾き始めた。曲ご
とに、徐々に音色が大きくなつて
いく。吸い寄せられるように被災
者らが集まり、力強くラジオ体操
の曲も演奏した。

被災者の女性(70)は「気が安
らぐし、穏やかになる」と笑顔。
横田紀子さん(70)も体を動かし
た後「ピアノ(の伴奏)で体操で
きるなんて。毎朝楽しみにしてい
る」と話し、避難所での癒やしに
なつている。

停電が続き、CDプレーヤーで
流れなかつたラジオ体操の曲。同
小の先生がピアノで演奏したが、
失敗してしまつたある日の朝、橋
本君が「僕、弾けます」と手をあ
げた。それ以来、毎朝7時半びつ
たりに橋本君の演奏は始まる。ピ
アノに触れるようになり、泣くこ
とも少なくなった。

橋本君は人気グループ「いきもの
のがかり」の曲「ありがとう」を
よく弾く。優しいタッチ。間違え
ても、何度も弾き直す。安代さん
は「ありがとう」と言いたいのか
も。家を失い、一からの出発だけ
でくれるこどが雅生にとつての癒
やし」とほほ笑む。

よろしかつたら「サポー
ター」になつてください。一口
3000円でお願いさせてください。
3000円×100人が認定NPO
としてのクリア条件となつています。
NPO法と税制改正法を受
け、はらっぱも「認定NPO法」
人取得を考えています。取得
後は寄付者に寄付金控除が適用
されます。

よろしかつたら「サポー
ター」になつてください。一口
3000円でお願いさせてください。
3000円×100人が認定NPO
としてのクリア条件となつています。
NPO法と税制改正法を受
け、はらっぱも「認定NPO法」
人取得を考えています。取得
後は寄付者に寄付金控除が適用
されます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

【被災地の子どもたち】 避難所に響くピアノの音色 自閉症生徒「僕弾けます」

い集めたクラシックやポップスの
楽譜やCDは橋本君の宝物だ。
震災から数日後の夜、橋本君が
避難所で泣きだした。大好きなお
ばあちゃんに会えない。家に帰れ
ない。電子ピアノが弾けない。楽
譜やCDも流されてしまつた。
失つた物の大きさに少しづつ氣
づき、気持ちが不安定になつてい
た。安代さんも「ピアノを弾かせ
たいが、悲しみに暮れる人も多い
避難所で演奏させるのはどうだろ
うか……」と悩んだ。

ハンドイをもつ子どもたちの放
課後活動施設です。
1996年に自主グループと
して開所、1998年に東京
都通所ディグループ事業認可、
2007年からは運営主体をN
PO法人はらっぱに移行し、運
営を続けています。
NPO法と税制改正法を受
け、はらっぱも「認定NPO法」
人取得を考えています。取得
後は寄付者に寄付金控除が適用
されます。

H 23年4月10日付

共同通信配信記事より

♪つくしんぼの地図♪



「はらっぱ&つくしんぼ
サポートー」支援のお願い